

関西大学博物館実習展

2024年11月10日〔日〕～11月15日〔金〕

入館料／無料

「開館時間」
10時～16時
(入館15時30分まで)

「場所」
関西大学博物館
特別展示室(簡文館内)

二〇二四年度 関西大学博物館実習展

反逆の正義

大塩平八郎のメッセージ



11.10(日) ▶ 11.15(金)

開館時間 10:00～16:00 入館料 無料
場所 関西大学博物館特別展示室(簡文館内)
〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35
TEL:06-6368-1171

大塩平八郎のメッセージ

反逆の正義

二〇二四年度 関西大学博物館実習展

崎の系譜

煎茶を楽しんだ人々



2024年 11月10日(日) ▶ 11月15日(金)

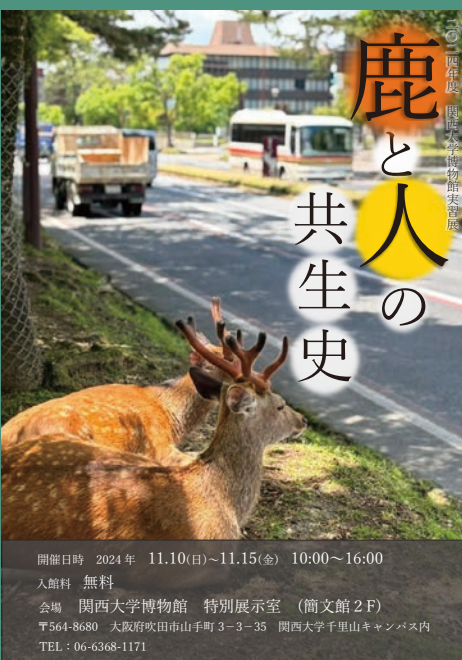
開館時間 10:00AM～16:00PM
入館料 無料
会場 関西大学博物館 特別展示室(簡文館2階)
〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 TEL:06-6368-1171

崎の系譜

煎茶を楽しんだ人々

二〇二四年度 関西大学博物館実習展

鹿と人の共生史



開催日時 2024年 11.10(日)～11.15(金) 10:00～16:00
入館料 無料
会場 関西大学博物館 特別展示室(簡文館2F)
〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 関西大学千里山キャンパス内
TEL:06-6368-1171

鹿と人の共生史

2024年11月10日[日]～11月15日[金]

入館料／無料

関西大学博物館実習展

「開館時間」

10時～16時

(入館15時30分まで)

「場所」

関西大学博物館

特別展示室(簡文館内)

反逆の正義 大塩平八郎のメッセージ

今回の展示で中心となる大塩平八郎は、1793年に誕生しました。その後、彼は「大塩平八郎の乱」を起こすまでにキリシタンを摘発するなど業務に勤しんでいました。そして、江戸時代の後期に大坂東町奉行所の与力として活躍したと同時に、陽明学者としても名高い人物でした。しかし、天保の大飢饉が起こった際の幕府の暴政や豪商による米の買い占めに対し、1837年、武装蜂起を起こします。これが「大塩平八郎の乱」です。乱は一日で鎮圧されてしまい、乱から約1ヶ月後、彼は潜伏の後に自決に追い込まれます。ただ、この乱はその後の社会に大きな影響を与えました。

本展では、大塩平八郎に関する書物や拳兵の檄文を中心に、元与力でありながら、民衆と蜂起することを選んだ彼の心情を紐解いていきます。

畸の系譜 煎茶を楽しんだ人々

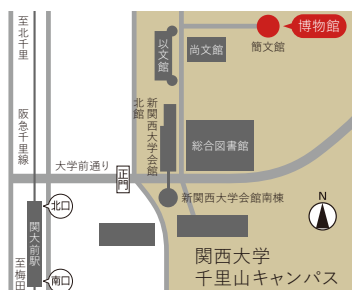
日本人になじみの深い飲み物、煎茶。茶葉をお湯で煮出して飲む行為自体は唐の時代に中国で生まれましたが、煎茶が隠元禅師によって日本に持ち込まれ、文人たちの間で盛んに飲まれるようになったのは、実は江戸時代です。本展では、煎茶を飲みながら詩歌や書画について語り合う煎茶文化を発展させた人物として売茶翁と木村蒹葭堂に注目します。京都で茶を売りながら文人たちに影響を与えた畸人(俗にいたとしても俗に染まらぬ賢者のこと)売茶翁、そして文人たちの集うサロンを大坂で開いた木村蒹葭堂。この二人の足跡を追いかけることで、煎茶の世界をのぞいてみませんか。

鹿と人の共生史

鹿は古くから日本に生息し、私たち人類と共に生きてきました。人は鹿を狩りの対象とし、あるいは信仰し、書画のモチーフとしました。そして鹿は奈良を中心に観光の目的となり、訪れる人々に驚きと興味深さを与えています。その一方で、交通事故や鹿による被害などが問題となり、共存の関係性を見直す必要に迫られています。

本展では、狩猟文化と鹿の関係、古代の詩歌の中の鹿、中世の武士にとっての鹿や近世の鹿を題材とした絵画、そして近現代の鹿と人とのあり方を示し、人々の身近にある鹿について深く掘り下げ、今一度考えていきます。

過去から現在、そして未来へと続く鹿と人の共生史をお楽しみください。



関西大学博物館

関西大学千里山キャンパス 簡文館内

〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35 TEL : 06-6368-1171

<https://www.kansai-u.ac.jp/Museum/> E-mail : hakubutsukan@ml.kandai.jp

[アクセス] 関西大学千里山キャンパス 阪急千里線「関大前」駅 徒歩10分